

～快晴の下豪華な散策でした～

迎賓館・清水谷・赤坂・虎の門 都心の緑散策

迎賓館赤坂離宮を、20名による念願の団体参観をしました。その後、イグナチオ教会、清水谷、溜池、赤坂、日枝神社、そして江戸城石垣の遺構の見学をしました。天候は絶好、梅雨前の好天下を豪華に散策しました。

終了後、恒例の反省会を、気温30度の晴天を寿ぎビールで喉を潤しました。

この都心散策は希望者が多く、抽選となりました。折を見てもう一度散策の機会を得たいと思います。

期 間:2017年6月19日(月曜) 解散5時

参加費:1,000円

自己負担:迎賓館入場料(800円)、現地迄の交通費、

集 合:JR四谷駅12時(JR麴町改札)

懇親会:解散後有志で反省会をかねて実施しました

参 加:20名(申込者多数のため抽選)

ルート 集合;JR四谷駅 ⇒ 迎賓館内部 ⇒ 迎賓館主庭 ⇒ 迎賓館表門 ⇒ 四谷見附橋 ⇒ イグナチオ教会 ⇒ 上智大学 ⇒ 清水谷公園 ⇒ 大久保利通遭難の碑 ⇒ 弁慶橋 ⇒ 赤坂一ツ木通り ⇒ 休憩;赤坂サカス付近 ⇒ 日枝神社 ⇒ 特許庁前 ⇒ 工部大学校跡地 ⇒ 文部省前 ⇒ 江戸城石垣遺構 ⇒ 解散;霞が関駅



平成29年6月19日
赤坂迎賓館 参観記念

赤坂迎賓館

建物の内部に足を踏み入れて、豪華なゴブラン織りにおどろき、壁面の和洋混合の模様になるほどと納得し、天井のフランス画家のバラの花に西洋風を感じました。建物から外へ出たところ、主庭園の噴水が当日の暑さに安らぎを感じ、初夏の新緑に都会のオアシスを感じました。一言で言って絢爛豪華でした。



迎賓館前庭

四谷見附橋

JR中央線四谷駅のホームをまたぎ、東京都心の幹線道路である新宿通りが通っているのが四谷見附橋です。江戸時代寛永の頃からこの四谷見附門があり、甲州街道へつながっていました。その後何回か架け替えがありました。橋の東側石垣に「四谷見附橋」の銘板がありました。

この橋のデザインは、迎賓館の外観と調和するようにネオ・バロック様式が基本で、現在の橋もその趣が伝承されています。



Shinjuku Historical Museum 新宿歴史博物館

一世代前の四谷見附橋
都電が懐かしく車もクラシック

清水谷公園

上智大学から赤坂弁慶橋へと抜ける途中にあります。明治23年(1890)から東京市の公園となっていて、

今も都心とは思えぬ落ち着いた佇まいがありました。園内の池には小さな滝があり、水面に映る周囲の樹木の新緑のグラデーションがあり、安らぎの風情でした。



清水谷公園の池

清水谷の歴史の証人

清水谷公園の正面には、明治の元勲の第一順位の大久保利通が暗殺された場所に碑が立っていました。高さ6メートルの石碑に、その存在の偉大さと明治初期の激動の時代を考えさせられました。



大久保利通を顕彰する石碑

弁慶橋

清水谷公園前を通り赤坂に通じる道筋にありました。お堀のボート乗り場としても有名です。江戸時代に神田にあった弁慶橋を、移築したのが始まりだそうです。



弁慶橋は高速道路下

日枝神社

七五三の定番のスポット、都心の高台にあるなにかよさそうことを呼んでくれそうな神社でした。もちろん、お賽銭に幾百の願いを込めて深いお祈りをしました。



日枝神社 社殿

江戸城石垣の遺構

文部科学省構内に残っている石垣は、江戸城外堀の一部で、寛永13年(1636)に江戸幕府が全国の大名を動員して築いたものだそうです。文部科学省構内ラウンジ前と地下鉄銀座線虎ノ門駅の新庁舎連絡通路内に、石垣の全貌が見える展示コーナーがありました。

石垣のどっしりした造りに、当時の技術力の高さを感じました。

